

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 国内売上高
- 4) 海外売上高
- 5) 商品群別売上高
[参考] 内訳
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) COVID-19感染拡大の影響
- 9) 通期業績見通し
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

日本光電工業株式会社

銘柄コード: 6849

2020年8月4日

Fighting Disease with Electronics



1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	38,551	38,461	△ 0.2
国内売上高	28,392	24,809	△ 12.6
海外売上高	10,159	13,652	34.4
売上総利益 (売上総利益率)	18,524 48.1%	19,428 50.5%	4.9
営業利益 (営業利益率)	542 1.4%	1,831 4.8%	237.8
経常利益	△ 26	1,581	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 499	1,060	—

← 為替影響除く: +40%

← 自社品 2020/3 Q1 2021/3 Q1
売上比率: 62.5% → 68.7%

← 販管費率: 46.7% → 45.7%

← 為替差損: 6.4億円 → 4.3億円

平均レート	(2019/6)	(2020/6)
1米ドル	110.7円	107.9円
1ユーロ	123.5円	118.1円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 0.2%減

- ・国内：営業・サービス活動の自粛や検査・手術の延期が影響し減収。
大学、官公立病院市場における前年同期の新築移転に伴う大口商談の受注の反動減も響く。
- ・海外：生体情報モニタ、人工呼吸器の需要が急増、全ての地域で二桁増収。

営業利益：前年同期比 237.8%増

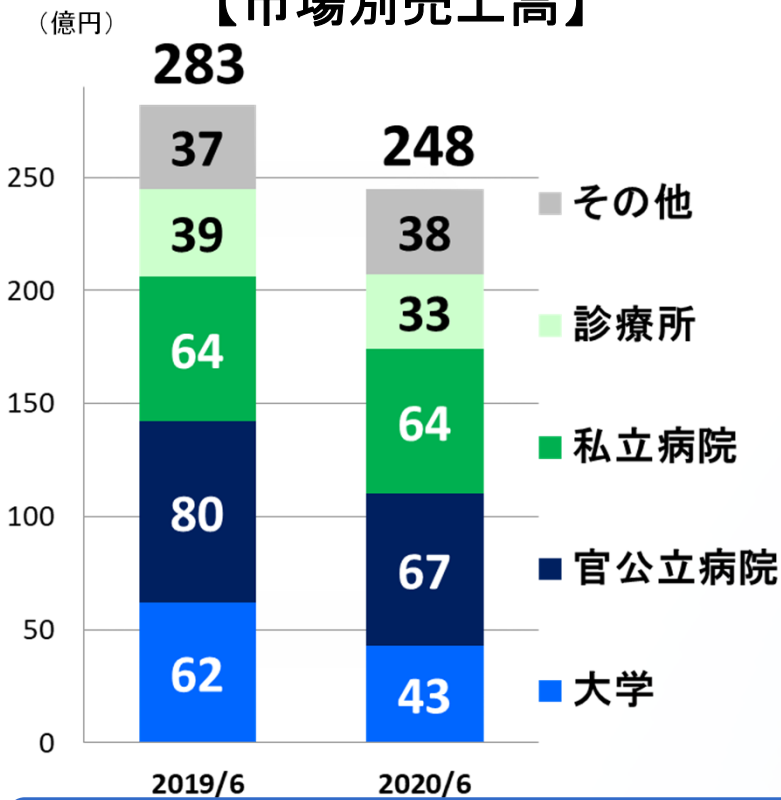
- ・粗利率は、売上構成の良化により改善。2015/3 Q1以来の50%台回復。
- ・旅費交通費などの販管費が減少し、大幅増益。

経常利益：1,581百万円（前年同期は26百万円の経常損失）

純利益：1,060百万円（前年同期は499百万円の純損失）

3) 国内売上高

【市場別売上高】



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	7,291	5,643	△ 22.6
生体情報モニタ	8,183	7,732	△ 5.5
治療機器	5,493	5,551	1.0
その他	7,424	5,881	△ 20.8
売上高合計	28,392	24,809	△ 12.6

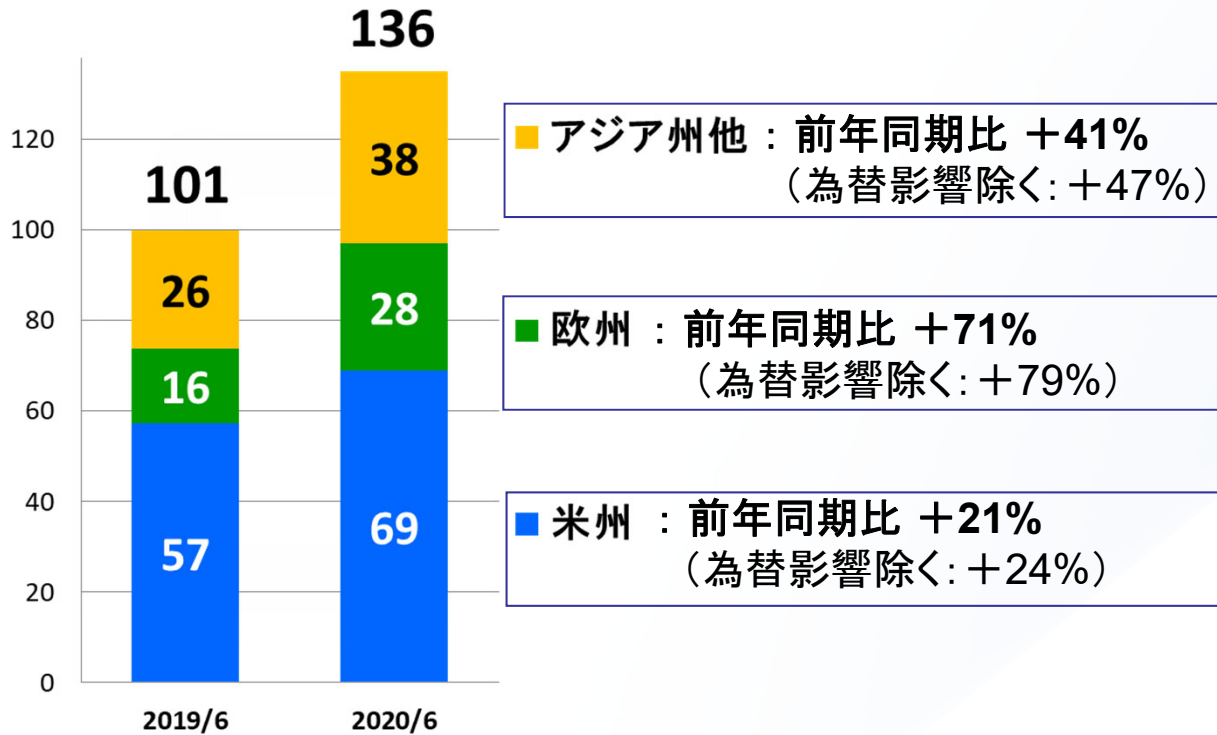
【市場別】 大学、官公立病院市場では、新築移転に伴う大口商談の受注があり好調だった前年同期から大幅減収。診療所市場も低調に推移。私立病院市場では前年同期並みの売上を確保。

【商品群別】 生体計測機器： 全ての商品が二桁減収。特に、心臓カテーテル検査装置群は、病院における検査・手術の延期が影響し低調に推移。
 生体情報モニタ： 前年同期が好調だった反動により臨床情報システム、ベッドサイドモニタが大幅減収。医用テレメータ、送信機は好調。
 治療機器： 人工呼吸器は、ハミルトン社製、自社製ともに大幅に伸長。AEDは、更新商談の受注もあり好調に推移。除細動器、ペースメーカー・ICDは減収。
 その他： 前年同期の大口商談の反動や営業・サービス活動自粛の影響により、現地仕入品、医療機器の設置工事が大幅減収。

4) 海外売上高

【地域別売上高】

(億円)



【海外売上高比率】

2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期
26.4%	35.5%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,899	1,698	△ 10.6
生体情報モニタ	5,215	7,650	46.7
治療機器	1,739	3,163	81.8
その他	1,304	1,139	△ 12.6
売上高合計	10,159	13,652	34.4

為替影響除く: +40%

- 【地域別】
- 米州: 米国、中南米ともに二桁成長。中南米では、ブラジル、メキシコが好調。
 - 欧州: 西欧諸国を中心に大幅増収。特に、イタリア、イギリスが好調。
 - アジア州他: 中国が好調に推移したほか、ベトナム、カタールでの大口商談の受注が寄与。
- 【商品群別】
- 生体計測機器: 心電計群はアジア州他、欧州で好調に推移するも、脳神経系群が米国、中国で低調。
 - 生体情報モニタ: 全ての地域で二桁成長。特に、欧州、アジア州他での売上が倍増。
 - 治療機器: 人工呼吸器が全ての地域で大幅に伸長。除細動器はアジア州他、欧州で好調。AEDは全ての地域で需要が減少。
 - その他: 血球計数器が全ての地域で前年同期を下回る。

5) 商品群別売上高

(単位:百万円)

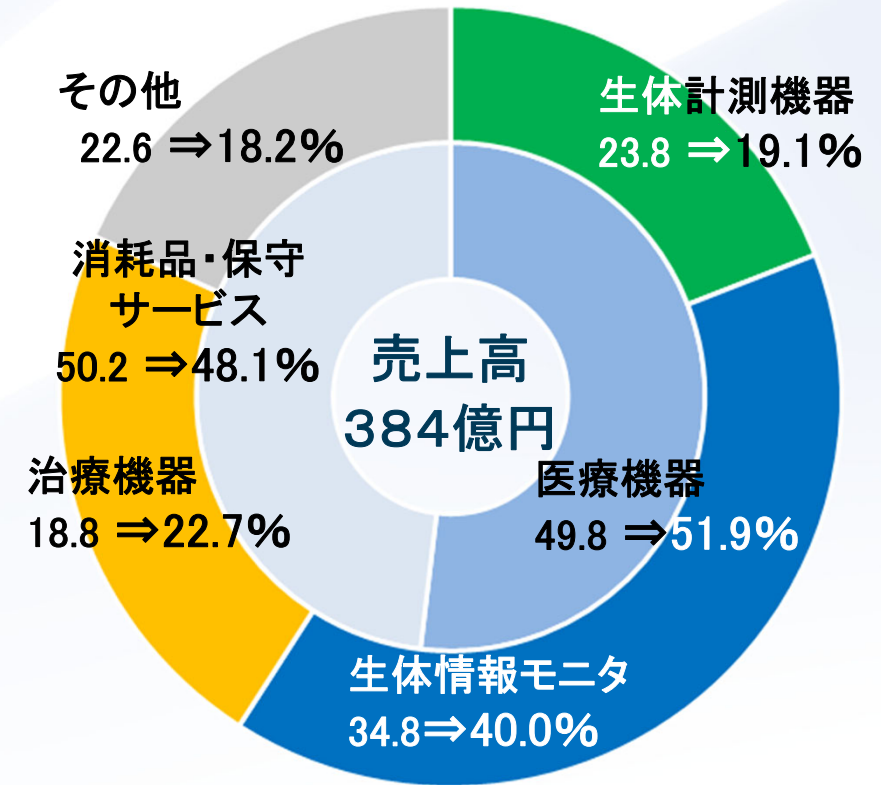
	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	9,191	7,342	△ 20.1
生体情報モニタ	13,398	15,382	14.8
治療機器	7,233	8,714	20.5
その他	8,728	7,021	△ 19.6
売上高合計	38,551	38,461	△ 0.2

(ご参考)

消耗品・保守サービス	19,342	18,502	△ 4.3
------------	--------	--------	-------

商品群別売上構成比

(2019/6 ⇒ 2020/6)



[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期
脳 神 経 系 群	14	11
心 電 計 心 群	14	13
心臓カテーテル検査装置群	39	30
その他(診断情報システム等) [※]	23	17

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期
医 科 向 け 除 細 動 器	11	12
A E D	31	30
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	8	6
人 工 呼 吸 器	7	24
そ の 他	14	12

そ の 他	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期
検 体 検 査 装 置	20	21
画像診断装置、研究用機器他 [※]	67	48

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

6) トピックス - 米国でのシナジー強化

プレホスピタル～インホスピタル: COVID-19対応の製品・サービス提案を強化

In-hospital

NEW!

2020年1月 米国発売



Protective Control™



Nihon Kohden OrangeMed

- デュアルディスプレイで病室外から操作ができるため医療従事者の感染リスクを低減

人工呼吸器
NKV-550

- 双方向のオンライン教育プログラムを提供

オンライン教育プログラム
NK University

Pre/In-hospital



AN EDUCATIONAL SERVICE OFFERING OF NIHON KOHDEN

Pre-hospital



- 機械式の胸骨圧迫により、医療従事者の感染リスクを低減

自動心臓マッサージ装置
Lifeline ARM

エアウェイスコープ
NK AWS-S200

- モニタ画面を見ながらスムーズな気管挿管ができるため、医療従事者の感染リスクを低減

NEW!

2017年9月 事業譲受
2020年7月 米国発売



ビデオ硬性挿管用喉頭鏡

Pre/In-hospital

中位機種
ベッドサイドモニタ
の投入

製品サイバーセキュリティ
を強化

2020年内
米FDA再申請を目指す

※在宅勤務により開発に若干の遅れ、
余裕を持ったスケジュールに見直し

7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2020/3 第1四半期	2021/3 第1四半期	増減額	2020/3 実績	2021/3 計画
減価償却費	785	722	△ 63	3,597	3,600
研究開発費	1,497	1,464	△ 33	6,731	7,000
			設備投資額	3,549	3,900

●2021/3設備投資計画

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備(需要の増加に伴う人工呼吸器2機種・生体情報モニタの生産増強を含む)

<人工呼吸器・生体情報モニタの増産支援>

- 人工呼吸器の架台 1,000台供給
(本田技研工業)
- 人工呼吸器・生体情報モニタ 生産工程の改善指導
(TPS(トヨタ生産方式)支援チーム)



NKV-330



NKV-550



8) COVID-19感染拡大の影響

国内

海外

上期

下期

- 5月末まで不要不急の営業・サービス活動を自粛
- 5月末まで病院におけるカテーテル・ペースメーカー・ICD症例が減少
- + 人工呼吸器、医用テレメータ、送信機の問い合わせが増加

患者の
受診抑制

医療機関の収益回復に
時間がかかる見通し

- COVID-19対応以外の商談の縮小、延期の可能性

- + 各地域で生体情報モニタ、人工呼吸器の商談が増加
- 脳波計や血球計数器の需要が減少
- PAD市場でのAEDの需要が減少

集中治療体制の強化・整備

経済の
停滞・悪化

政府予算の縮小・
設備投資抑制の懸念

- + 国によっては、生体情報モニタ、人工呼吸器の備蓄が進む可能性
- 特需の反動減が発生する可能性

国内は上期末、海外はQ3末で感染拡大が収束すると仮定するも、状況を注視

9) 通期業績見通し

	2020/3 実績	2021/3 予想	増減率 (%)
売上高	185,007	180,000	△ 2.7
国内売上高	134,355	126,200	△ 6.1
海外売上高	50,651	53,800	6.2
売上総利益 (売上総利益率)	89,325 48.3%	87,200 48.4%	△ 2.4
営業利益 (営業利益率)	15,503 8.4%	14,000 7.8%	△ 9.7
経常利益	14,846	14,000	△ 5.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,854	10,000	1.5
海外売上高比率	27.4%	29.9%	

(単位:百万円)

← 為替影響除く: +9%

【地域別海外売上高】

	2020/3 実績	2021/3 予想	増減率 (%)
米州	24,731	26,600	7.6
欧州	9,044	8,800	△ 2.7
アジア州他	16,876	18,400	9.0
海外計	50,651	53,800	6.2

※2021/3期から、アジア州とその他地域を合わせて、アジア州他としています。

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

	2020/3	2021/3	増減率 (%)
	実績	予想 構成比(%)	
生体計測機器	42,273	37,200	△ 12.0
生体情報モニタ	64,966	68,500	5.4
治療機器	34,512	35,800	3.7
その他	43,254	38,500	△ 11.0
売上高合計	185,007	180,000	△ 2.7

(単位:百万円)

(ご参考)

消耗品・保守サービス	84,160	82,200	45.7	△ 2.3
------------	--------	--------	------	-------

平均レート

	2020/3 実績	2021/3 予想
1 米ドル	109.1円	107円
1 ユーロ	121.1円	117円

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
1 米ドル	3.3億円	1.0億円
1 ユーロ	0.6億円	0.2億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003